

## 第3回 まちなみウォッチング～エレクトリックモンスターってなんだろう

2024.8.4

エレクトリックモンスターは、24時間365日、ずっと動いて電気を使っている電気のおバケです。こども環境委員会では、2008年から自動販売機の調査を先輩たちが続け、今年9回目の調査を実施しました。

私たちこども環境委員会では、自分たちがどのように行動したら、環境に与える悪い影響を小さくできるかを考えようとしています。大量の使い捨てエネルギーと使い捨てプラスチックを出しているエレクトリックモンスターは、私たちの生活に必要でしょうか？

もし、あなたが、エアコンも車もネットもペットボトルも自動販売機も使えない国で生活していて、日本のように便利な生活をしている人から、「私たちの生活はエネルギーをたくさん使うから、あなたたちが便利な生活をする環境がもっと悪くなるので、あなたたちは電気を使わない不便な生活をしてください」と言われたら、どう、思いますか？

私たちは、たまたま日本に生まれて、日本人として便利な生活を送ることができていますが、だからこそ地球人の目になって、自分たちの生活を見つめ直すなくてはなりません。

そして、今は、この世界、この地球は、未来の人たちから借りているものという考え方です。未来の人に少しでもよい地球をわたすために、私たちには、新しい行動が必要です。



## 第4回 リサイくるくる探検隊～資源のゆくえを追いかけてよう！

2024.8.17

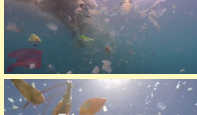
今回は、資源として出された物のゆくえを追いかけてきました。資源が最初に集められるリサイクルの中間処理施設、清掃車庫を見学しました。また、新しく始まる、プラスチック分別回収について知りました。私たちが、資源をリサイクルするときにはできることは、「きれいにして出す」と「分別して出す」です。この2つができていないと、良い資源にするために、たくさんの手間がかかることが今日の体験でわかりました。新しく始まるプラスチック分別回収は、燃やすごみとして出していたプラスチックを資源として出せるようになりました。もう1つ大切なことは「再生品を使う」ことです。再生品とは、資源をリサイクルして作った品物のことです。一生懸命資源を集めてたくさんの再生品を作っても、私たちが再生品を買わないとリサイクルは完成しません。再生品を使うところまでを私たちが実行して、リサイクルをやったということになるのです。

そしてリサイクルよりも大切なことがあることも知りました。何度でも使えるものを選ぶことです。資源をリサイクルすることは大切なことですが、リサイクルにはたくさんの手間とエネルギーを使います。リサイクルは魔法の言葉ではありません。たった1回使っただけでリサイクルに出してしまうペットボトルやワンウェイビンはできるだけ使わずに、自分で水筒に飲み物を入れて持ち歩くことが一番大切なことだと学びました。



## 第5回 私たちが目指す「プラスチックフリー」の世界

2024.9.22



ここ数年、世界中でそして、こども環境委員会でも大きなテーマの一つになっている海洋プラスチックごみ問題。今回は、プラスチックごみの多さに気づき、それを減らすための行動を起こしたニューヨークの小学生たちの活動を追ったドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る2050年～」を見て、参加者同士で意見交換をしました。靴の中のプラスチックを調べて、必要か不要か、他の素材でも良いかプラスチックでないとダメかなども考えました。

「プラスチックは海だけでなく世界も汚していることが分かった」「小学生の小さい行動で、世界が変わる。僕の学校にもプラスチックゼロ給食の日を入れたい」「使い捨てのペットボトルをポイ捨てすると、そのごみは自分に返ってくることを知った」「プラスチックは便利だけど、私たちの居場所や世界がだんだん汚くなっている」「海に行ってプラスチックごみを拾うことはニューヨークだけでなく世界に繋がる事なので自分たちもやりたい」初回から少し時間をかけて話し合うことを続けていますが、上記の感想からも分かるように、徐々に、考えをまとめて話すことができるようになり、どんどん自分の考えを人に伝えることに慣れてきています。

## 第6回 「グリーンコンシューマー」になろう

2024.10.20

環境を考え、環境を大切に行動する消費者がどんなことに配慮しているのかを知りました。実際の買い物では、考えることがたくさんありました。通信に詳しく書いています。環境問題の一つであるごみ問題は「選ぶ」＝「買う」という行動によっておきています。買うときに考えれば、ごみになるものを減らすことができます。お金の使い方も大切です。すぐにごみになるものを選んだり、食品を食べずに捨ててしまうことは、お金を捨てていることです。

私たちは毎日、いろいろなコトやモノを「選ぶ」ということをしながら生活しています。食べ物や洋服や文房具を買うとき、何を買うかと選んでいます。遊びに行く時にも、車で行くか電車で行くか、自転車で行くか歩いていくかを選ぶんでいます。何を選ぶかによって、環境への影響が大きくなったり小さくなったりします。「エシカル消費」という言葉があります。社会問題や環境問題の解決に取り組む会社や団体の製品やサービスを選んで消費する考え方です。そんな会社や団体の商品を買ひ、応援することが私たちにはできます。

「賞味期限の近い物を選べば食品ロスが減らせる」「今日分かったことを、周りの大人と一緒に買い物するとき伝えて買い物をしたい」などの感想がありました。考える、他の人に伝え広げていく、その行動こそグリーンコンシューマーです。



## 第7回 作って食べよう！エコクッキング

2024.11.10

エコクッキングとは環境のことを考えて、買い物、料理、片付け、保存をすることです。生活の中で、環境への影響を考える時、身近に取り組みやすいのが食べることに関わることです。今、私たちはあたりまえのように何気なく、毎日食事ができています。おやつも食べられます。お店に行けば、気軽に食べ物が買えます。でも・・・

☆私のクラスメートが、世界中のみんなが、本当に平等に食べることができているのか ☆世界中の人が、きれいで安全なお水を飲むことができているのか ☆すぐにごみになるものを買ったり、もらったりしていないか ☆食べ物や水、エネルギーや資源をムダにしていないか ☆私たちが食べているお肉や卵のもとになっている牛、豚、鶏は、どんな育てられかたをしているのか。

実際を見に行くことはすぐにはできないかもしれませんが、想像してみてください。一つ一つは小さな、別々のことに思えるかもしれませんが、しかし、私たちのあたりまえと思っていることが、あたりまえでない人たち、動物たちがたくさんいます。私たちのあたりまえと思っていることが、あたりまえでないことがたくさんあります。そして、私たちのあたりまえは、ずーっと続くかはわからないのです。環境問題の正解は一つではありません。ですから、自分は何を大切に、その大切なもののために何ができるかを考えます。でもそれは、となりの人とは違うことがあるかもしれません。自分の大切なものも、となりの人が大切なものも、どちらも大切にしながら、どこに向かって、どんなものを目指しているのかを、みんなと話ししていくことが大切です。



## 第8回 雑木林で木こり体験（八王子自然体験）

2024.12.8

「東京都八王子戸吹北緑地保全地域」で「戸吹北森を守る会」の方々から指導を受けながら、雑木林と生態系の保全活動のお手伝いをしました。今回は、自分の身長よりも高いアズマネザサという下草の刈り込み、落ち葉かき、落ち葉溜プール遊び、間伐など、どれも新鮮でした。自分の背丈よりも長い熊手を使い、半袖Tシャツで頑張った落ち葉かきはカブトムシの幼虫を育むプールを満杯にしました。満杯のプールでダイビングやトレインをみんなで楽しんでいました。「熊手を使って葉っぱを集めるのが楽しかった」「ノコギリの使い方いろいろでおもしろかった」「手入れをしないと環境を保つのが難しいと知った」「斜面がきつかった」「腰が痛かった」などと日頃の環境とは違う場所での体験で感じた感想がありました。森林には多くの役割があります。土砂災害を予防してくれたり、ダムのように水をためてくれます。多くの生き物がその中で生きているし、私たちに資源を提供してくれます。木は成長する中で、人間の生活が出す二酸化炭素を吸収して、私たちが必要な酸素をはき出します。きちんと手入れされた森は健康で生態系も豊かになります。戸吹北緑地でも絶滅危惧種と指定されている貴重な生物が沢山生きているそうです。一度人間が手を入れた森は人間が面倒を見る必要があります。そして、自然との付き合いは続けることがとても大切です。機会を見つけてまたやってみましょう。

